

各位

会社名 アマノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 津田博之
 (コード番号 6436 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員
 経営企画本部長 井原邦弘
 (TEL: 045-439-1591)

平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成29年4月26日に公表いたしました平成30年3月期第2四半期累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値について、差異が生じましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異
 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

<連結業績予想値と実績値との差異>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	59,300	5,300	5,500	3,400	44.71
今回実績(B)	57,962	5,628	5,982	4,071	53.61
増減額(B-A)	△1,337	328	482	671	—
増減率(%)	△2.3	6.2	8.8	19.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	56,599	5,099	5,238	3,259	42.56

<個別業績予想値と実績値との差異>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	34,100	3,300	4,400	3,000	39.45
今回実績(B)	32,930	3,800	4,997	3,741	49.26
増減額(B-A)	△1,169	500	597	741	—
増減率(%)	△3.4	15.2	13.6	24.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	32,872	3,175	4,075	2,861	37.36

2. 差異の理由

個別業績については、売上高は、情報システム及びクリーンシステムを中心に増収となったものの、パーキングシステム及び環境システムにおいて大型案件が減少したことにより、期初計画に対して未達となりました。利益面では、主に収益性の高い情報システムの増収効果に加え、全社的な原価及び経費低減活動による原価率の低減、投資有価証券の売却に伴う特別利益の計上等により、期初の利益計画を上回りました。

連結業績については、売上高は、アマノ単体の計画未達に加え、北米の減収の影響により期初計画に対して未達となりましたが、利益面では、上記のとおりアマノ単体の増益に加え、国内グループ会社の増益や韓国、メキシコ等の好調な推移により、期初計画を上回る実績となりました。

なお、平成 30 年 3 月期通期の業績予想に変更はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合には、適時に開示してまいります。

以 上